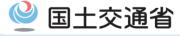
平成28年7月4日 交通政策審議会 第64回港湾分科会 資料 5-1

# 港湾における中長期政策の検討について

平成28年7月4日 港湾局





# 【我が国を取り巻く大きな潮流】

# 【2030年に向け我が国が直面する課題】

前回 (4月25日) 港湾分科会 にて審議

# 【港湾における中長期政策検討に向けた論点整理(案)】

- ・我が国が直面する課題に対応するため「港湾の果たすべき役割」は何か?
- •7つの視点を踏まえ「港湾の果たすべき役割」を論点項目として整理

# 【港湾政策の目指すべき方向性(柱立て素案)】

- ①重層的で効率的な海上交通ネットワークの形成
- ②新たな技術や産業を生み出し、世界をリードする産業・海洋空間の形成
- ③世界に誇る文化・交流空間の形成
- ④国民生活・産業活動を守る防災拠点・ネットワークの形成

本日 (7月4日) 港湾分科会 にて審議

次回以降 審議予定

【各柱立てにおける具体的な政策の検討】



### 1. 人口減少社会

- ✓ 人口減少、少子高齢化による担い手不足と市場の成熟化
- ✓ 都市部への集中に伴う、地方部の人口減少及び活力の低下

### 2. 成長するアジア諸国等と我が国の緊密化

- ✓ 2030年に向けて、アジア諸国(特に東南アジア)は引き続き経済成長
- ✓ 物流、人流の両面でアジア諸国と世界(日本含む)との交流の活発化
- ✓ 産業の国際分業、地産地消が進むことで、更に日本とアジアの関係がフラット化

# 3. ICT等の新技術を活用した社会の到来

- ✓ 新技術の発展に伴う、社会の変革
- ✓ 新技術の導入及び活用が当然の社会
- ✓ 新技術が社会の課題及び問題の解決手段であるとともに、変化への対応スピードが加速する社会



## 2030年に向け我が国が直面する課題

- ①人口減少に伴う市場の成熟化及び 生産人口の減少に伴う担い手不足。
- ②アジアや新興国の成長に伴う、我が 国の国際競争力の相対的低下。
- ③特に、地方部の人口減少に伴う地域 経済の衰退。
- ④ICTや自動化等の導入による生産性 革命への対応。
- ⑤設備やインフラの老朽化・陳腐化に 伴う我が国の産業競争力の低下。
- ⑥大規模地震等の自然災害リスク、国 際テロ等の脅威増大。
- ⑦世界的な資源・エネルギー需要の拡 大に伴う、調達コストやリスクの増大。
- ⑧地政学的変動による資源調達や輸 送ルート等への影響。
- ⑨地球環境問題等を踏まえた環境規 制の強化への対応。

#### 課題解決に向け港湾の果たすべき役割は?

### 視点(1):経済成長戦略

I:人口減少社会の中で、産業の生産性向上を図り、我が国 経済の維持・拡大を実現するために港湾がどのような役割 を果たすべきか。

Ⅱ:アジアの経済成長や世界的な経済連携が進む中、海外の 活力を取り込むとともに、我が国の輸出促進等のために、世 界戦略的視点に立った港湾政策をどう展開すべきか。

Ⅲ:地域経済の活性化を図るために、臨界部の利活用や産業 構造の再編等の動向を踏まえ、港湾政策をどう展開すべき か。

Ⅳ: 社会の情報化やシステム化が進展する中、新たな技術を 港湾政策の中でどのように活用していくべきか。

# 視点(2):港湾防災・セキュリティ政策・老朽化対策

Ⅴ:人命や産業が集中する臨海部において、自然災害リスク、 高まる国際テロ等の脅威に対してどのように備えるべきか。 また、港湾施設の老朽化が進む中、将来にわたって港湾機 能を発揮するためにどのように対応していくべきか。

### 視点(3):資源・環境・エネルギー政策

Ⅵ:輸入依存度の高い資源・エネルギーを将来にわたって安 定的かつ低廉に確保するために、港湾がどのような役割を 果たすべきか。

Ⅲ:世界的に地球環境問題への関心が高まる中、再生可能エ ネルギーの普及や環境との調和を図るために港湾政策をど う展開すべきか。

#### 論点

論点(1)

論点②

論点②